

演を聞く。

昭和29年8月1～4日 神戸市立植物教材園において
 学校園研究会を開催。

昭和29年7月28～31日 神戸医大において同校各教授
 指導の生理講習会を開催。

昭和30年5月20日 生物実験ノート第1刷発行、A5、
 33ページ。

昭和30年5月21日 西宮市立西宮高校において第9回
 生物学会総会を開催、本城博士に動物趨性について
 話を聞く。

昭和30年6月10日 生物実験ノート第2刷を発行す
 る。

昭和30年8月27～29日 理科校外指導研究会を淡路、
 先山及びユズルハ山において東大、本田正次博士、
 兵庫農大、奥谷先生指導で開催。

昭和30年10月28日 神戸市、毎日ホールにおいて北
 大、牧野博士に癌細胞の話を聞く。

昭和30年11月10日 兵庫生物、第3巻、第1～2号発
 行。

昭和31年8月10～12日 兵庫農大において同校教授指
 導の生理講習会を開催。

昭和31年10月26～11月11日まで神戸新聞社と共催で兵
 庫県生物展開催する。

昭和31年11月10日 兵庫県生物誌を発刊。

昭和31年5月27～28日 第10回総会を但馬、城崎小学
 校及び日和山において開催、京大、徳田博士にメン
 デルとルイセンコ学説、森会長から日本海の魚類に
 ついて聞く。

昭和31年11月30日 兵庫生物、第3巻、第3号を発行
 する。

昭和31年12月25～27日 神戸大学において同校教授10
 名の先生に講演を聞く。

昭和32年5月25日 市立姫路高校において10周年記念
 総会を開く。

昭和32年8月19～22日 神戸市奥摩耶ハウスにて野外
 生物研究会を開く。

昭和32年11月30日 県立兵庫高校において大学入試問
 題懇談会を開く。

兵庫県生物学会創立第10周年 記念号に寄せて

広 瀬 弘 幸

私と兵庫県生物学会とのつながりは昭和24年に始まる。しかし本会の前身にあたる兵庫県博物学会については、丁度発会当時、旧制姫路高等学校在学中であつたので、音水の森林中で、川崎正悦先生（灘高）からノリウツギを教えられ、故田代善太郎先生（京大）からタイミンガサを教えられたときの感銘と記憶は真になつかしい。初代会長であり私の恩師である故阿部良平先生の顔と物腰とが昨日のように想い浮びます。間もなく私は札幌に行きましたが、1度投稿さして戴いたきりで遠のきました。昭和24年神戸大学に転じて以来、本会の活動が次第に活発になり、他府県のその活動状況と比較し、さすがに大県なるかなと感心し、安心し、心強く感じた次第です。年々の総会の活発さ、時宜を得た催し物のヒット版の数々、それにも増して最大の誇りは、真に充実した本会誌の出版であ

りましょう。本会理事の方々の御苦勞は大変なものを中心敬意を表し続けています。

現在本会の推進力になつている人々は沢山ありますが、分けても直接運営の勞をとり続けあられる少数の方々には、時折とかくにいわれながらも、大乗的な見解から、近代的な実行力を如実に示されていて真に心強く頼もしく感じます。それにつけても、先般某所で、本会の最長老級の御1人である大浦茂樹先生と話し合つたことですが、何といつても、会の進化と永遠の発展とは、20代30代のいわゆる青年層の自覚と責任とその活動——研究、業績、発言——による所が何といつても一番大きいので、青年層の方々には次代を背負うの覚悟と自覚のもとに、たえず研究を続けられるよう、心から切望する次第です。

霞ヶ丘の頂にて、中秋の満月を仰ぎながら記す。